

青のりカフェ 開催報告

今春から2か月に渡り、青木のりお川崎市議会議員主催による市民対話「青のりカフェ」が高津区内各8か所で開催された。開催状況は、溝口15名、子母口18名、新作32名、末長20名、久末A 25名、久末B 26名、千年12名、野川13名と合計161名の方々が集まった。(予定されていた明津、蟹ヶ谷地区には関しては、新型インフルエンザ対策のために延期となった。)

青木市議はカフェにおいて「市民が主役の市政が大切」「地方分権が進むことは重要。なぜなら問題を現場で解決することが何よりも重要で、即効性があるから」と強調した。また、「地方分権と権利を主張するならば、必ず義務が付いてくる。義務を果たすためには、市民の市政に対する理解力が今よりも必要になるので、市民と議員はともに勉強しなければならない。今回のカフェで身銭を切って、主体的に勉強に来てくれる市民の姿勢がなによりもありがたかった」と語った。

昨今、市民対話の重要性を訴え、千葉や横須賀では同市議と同年代の市長が誕生している。今後とも、「青のりカフェ」は、定期的で開催されるとのこと。市民との対話が、定期的になることによって、開かれた市政、議会を目指す市議は熱く語った。

(レポート：中村)

お陰様で
各地で
盛会裡に
開催されました



自由民主党神奈川県川崎市高津区第6支部

青木のりお事務所

〒213-0027 神奈川県川崎市高津区野川3895

TEL 044-788-8899

FAX 044-788-6440

E-mail info@aokinorio.com

H P http://aokinorio.com

8割の107万人の人が住んでいる現状を考え、南部の環境技術や経験と北部の低炭素社会への意識が結びつく取り組みを推進することは重要な課題である。今後、取り組みが進めば、事業者は海外への環境技術提供が拡大し、時代にあった商いが出来る。また、市民は自宅に太陽光パネルや蓄電池などの取組みがより具体的に可能になる。そして、街全体が、途上国から見て先進的な環境モデル都市と生まれ変わる。理念が固まれば、行動が変わり、結果が変わってくる。今後とも、そんな夢と期待を持てる都市づくりをみなさんと一緒に考え創って行きたい。

Vol. 10



朝ごはんでもおなじみ!

川崎市議会議員

青木のりおの

青のりレポート!
http://aokinorio.com

6月市議会報告

今年は、そこまで来ている総選挙や10月に行われる川崎市長選挙の関係もあり、政治が大きく動いているのが感じられる。市議会も同様で、市長の8年間の行財政改革、新総合計画、市民本位のまちづくりと市政の3本柱の成果の検証と今後課題である、地下鉄や縦貫道路にはじまり、保育園の待機児童問題や、介護福祉の財政フレームの構築など、自治体が担う諸問題に対して、多くの議論を交わした。

これから地方分権を進めるためには、バラマキや政局に流されることなく、市民の豊かな生活を実現させるために、政策を作ると同時に、川崎市が、国際社会における重要な役割を発揮することも認識し、発展できる環境施策の推進や環境条例、環境政策基金の創設などについても議論を重ねる必要がある。私も年頭に皆様に約束した環境施策推進するために、まちづくり委員会から環境委員会に席を移し、世界で叫ばれているグリーンニューディール政策の先頭を川崎が担えるように働いていく覚悟だ。

